



2016年7月期 第1四半期決算資料

株式会社 ティー・ワイ・オー

2015年12月10日

1. 連結決算

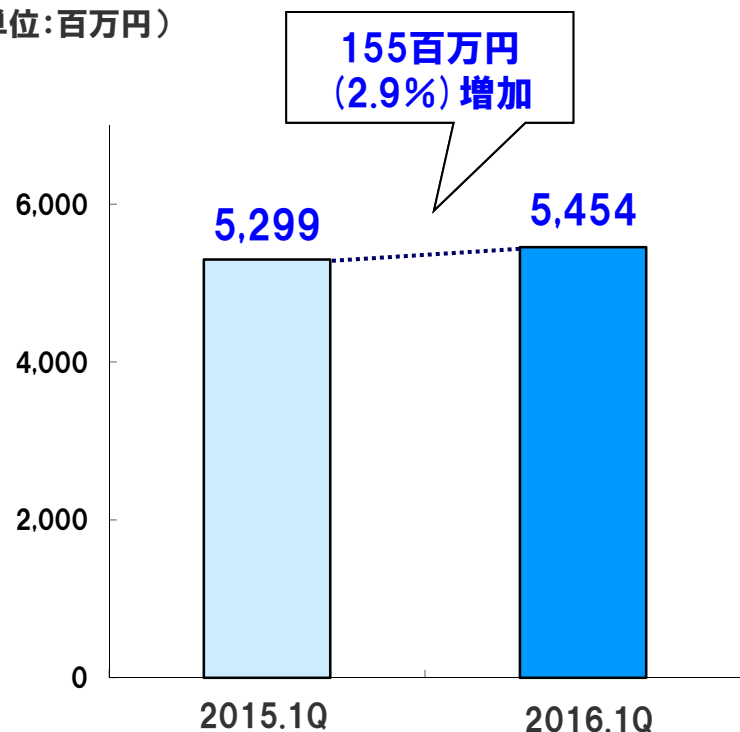


1.1. 決算ハイライト

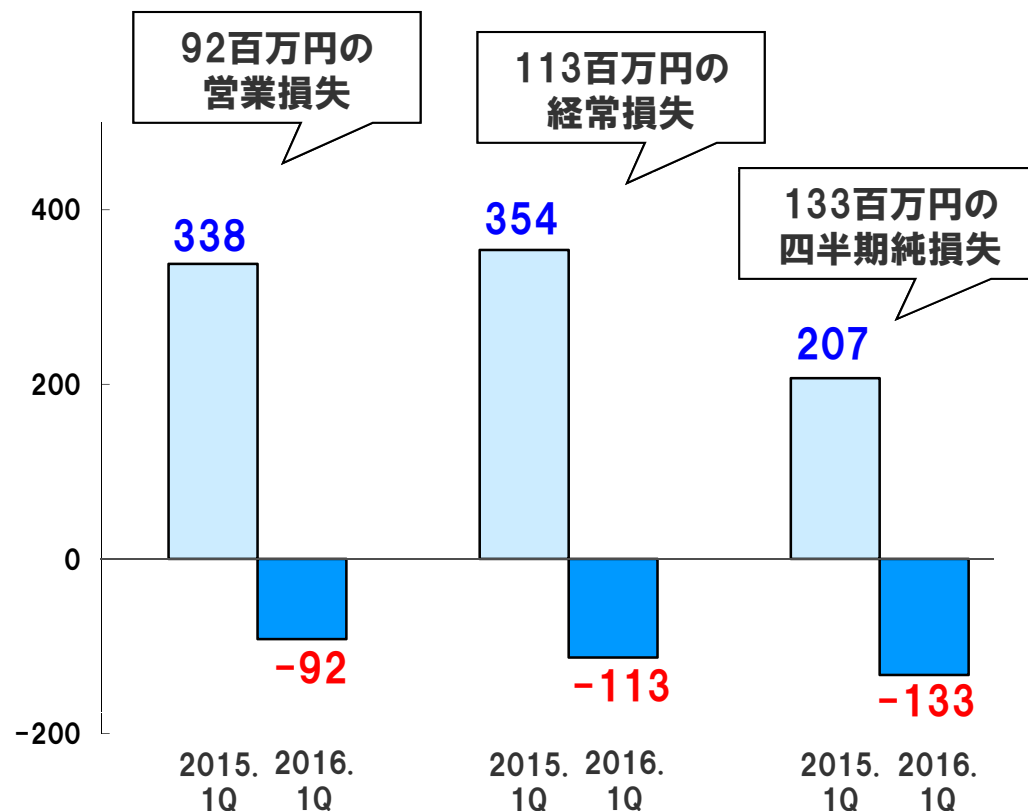
売上高は前年同四半期比で微増するも、
各段階利益は赤字を計上。

【売上高】

(単位:百万円)



【営業損益】 【経常損益】 【四半期純損益】



1.2.1. 連結損益計算書サマリー

(単位:百万円)	2015.1Q		2016.1Q		増減額	増減率	
	金額	百分比	金額	百分比			
売上高	5,299	-	5,454	-	155	2.9%	✓案件受注が順調に推移し、前期実績を超える売上高を確保。
売上原価	4,269	80.6%	4,687	85.9%	417	9.8%	✓複数の低利益率案件の発生等により、売上高総利益率は5.3ポイント低下。
売上総利益	1,030	19.4%	767	14.1%	-262	-25.5%	
販売管理費	692	13.1%	859	15.8%	167	24.2%	✓M&A関連費用・新会社の費用計上により、販管費は前期比で増加。
営業損益	338	6.4%	-92	-1.7%	-430	-127.3%	
営業外収益	38	0.7%	16	0.3%	-21	-56.6%	
営業外費用	22	0.4%	37	0.7%	15	68.3%	✓上記要因及び海外新会社の業績不振等により、営業損失を計上。
経常損益	354	6.7%	-113	-2.1%	-467	-132.0%	
特別利益	-	-	1	0.0%	1	-	
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	-0	-28.3%	✓上記要因等により、経常損失を計上。
税金等調整前 四半期純損益	354	6.7%	-112	-2.1%	-466	-131.9%	
法人税等合計	143	2.7%	26	0.5%	-117	-81.5%	
非支配株主に帰属 する四半期純損益	2	0.0%	-5	-0.1%	-8	-313.1%	✓上記要因等により、四半期純損失を計上。
四半期純損益	207	3.9%	-133	-2.5%	-341	-164.5%	

1.2.2. 広告主業種_Top10

電気・情報通信、衣料、飲料、自動車向け売上が引き続き好調。

【業種別 売上高Top10】

	2015.1Q(累計)	2016.1Q(累計)
1位	電気・情報通信	電気・情報通信
2位	衣料・繊維・服飾	衣料・繊維・服飾
3位	車両・交通器具・工業機械	飲料
4位	飲料	車両・交通器具・工業機械
5位	化粧品・衛生・医療	娯楽・エンターテインメント
6位	流通関係・レストラン	教養・出版・情報
7位	娯楽・エンターテインメント	流通関係・レストラン
8位	家庭用品(メーカー)	化粧品・衛生・医療
9位	教養・出版・情報	金融・保険
10位	旅客・運輸	食品

1.3.1. 連結貸借対照表①

(単位:百万円)	2015.4Q	2016.1Q	増減
流動資産	11,235	11,955	720
現金及び預金	4,388	3,477	-910
受取手形及び売掛金	4,736	5,377	640
仕掛品	1,633	2,605	971
その他	486	502	15
貸倒引当金	-9	-7	2
固定資産	3,354	3,447	92
有形固定資産	1,985	2,101	115
無形固定資産	320	300	-19
投資その他の資産	1,048	1,046	-3
投資有価証券	145	139	-6
その他	964	967	3
貸倒引当金	-60	-60	0
資産合計	14,590	15,403	812

✓ 借入返済 125百万円、配当支払 311百万円等による現預金減少。

✓ 受注残増加に伴う仕掛品の増加。

1.3.2. 連結貸借対照表②

(単位:百万円)		2015.4Q	2016.1Q	増減
負債の部	流動負債	5,827	6,146	319
	買掛金	3,288	2,900	-388
	短期借入金、 1年内返済予定長期借入金	500	1,600	1,100
	未払金、未払消費税等、 未払法人税等	1,563	699	-863
	その他	475	947	472
	固定負債	3,003	3,731	727
	長期借入金	2,300	2,575	275
	その他	703	1,156	452
	負債合計	8,830	9,877	1,047
純資産の部	株主資本	5,547	5,102	-445
	資本金	1,850	1,850	1
	資本剰余金	846	846	1
	利益剰余金	2,851	2,405	-445
	自己株式	-0	-0	-
	その他の包括利益累計額	24	-1	-25
	新株予約権	86	102	15
	非支配株主持分	101	321	220
	純資産合計	5,759	5,525	-234
負債純資産合計	14,590	15,403	812	

✓K&L社の第三者割当増資引受に伴い、長期借入金は増加。

✓配当金311百万円の支払い、及び四半期純損失133百万円を計上したことにより減少。

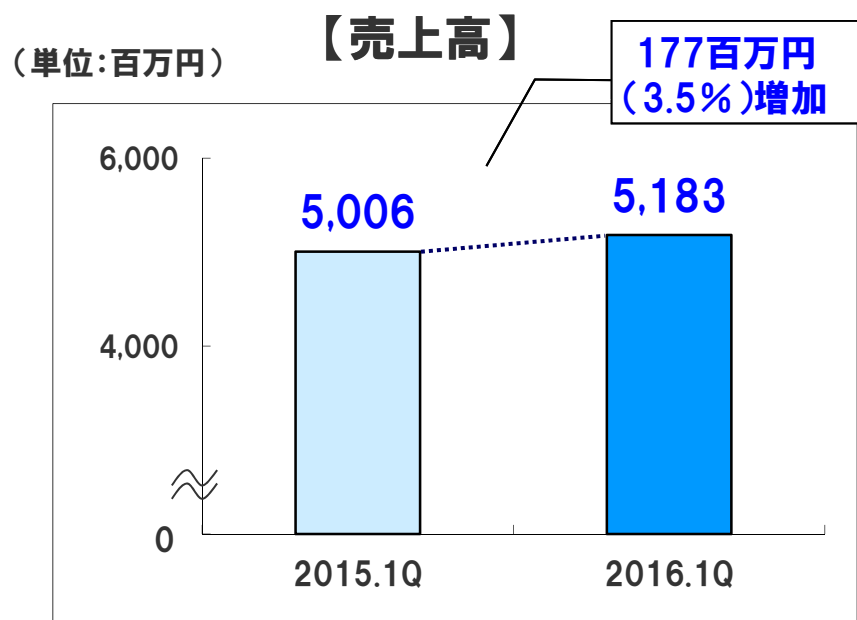
2. セグメント業績



2.1. 広告事業

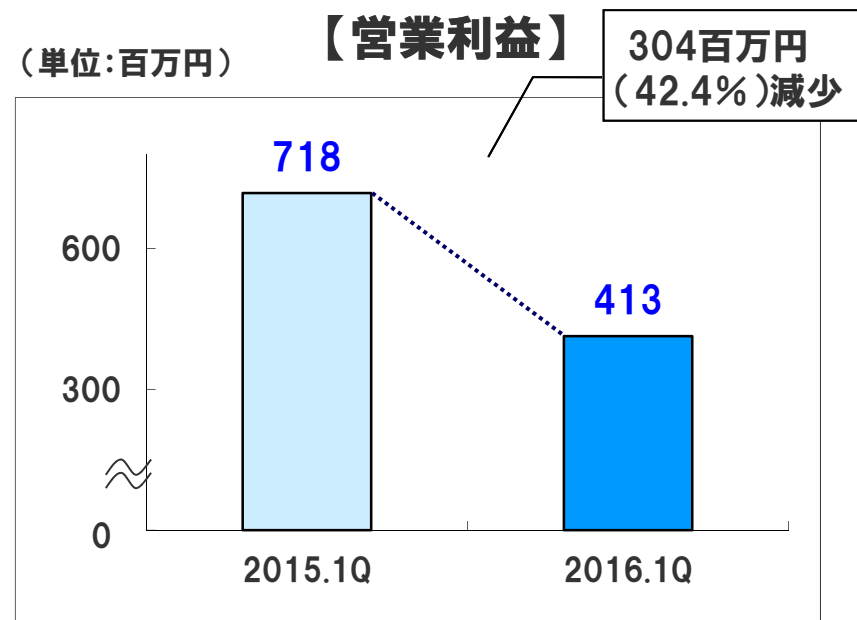


複数の大型案件の検収ずれ・低利益率案件の発生等により
営業利益は前年同四半期比で減少。



- ✓ 案件受注は堅調に推移。
- ✓ 大型案件の2Q・下期への検収ずれにより、売上高は想定を下回る水準で着地。

✓ 売上高は前年同期比で
 177百万円(3.5%)増加。



- ✓ 売上高が想定を下回ったこと、及び低利益率の案件が複数発生。

✓ 営業利益は前年同期比で
 304百万円(42.4%)減少。

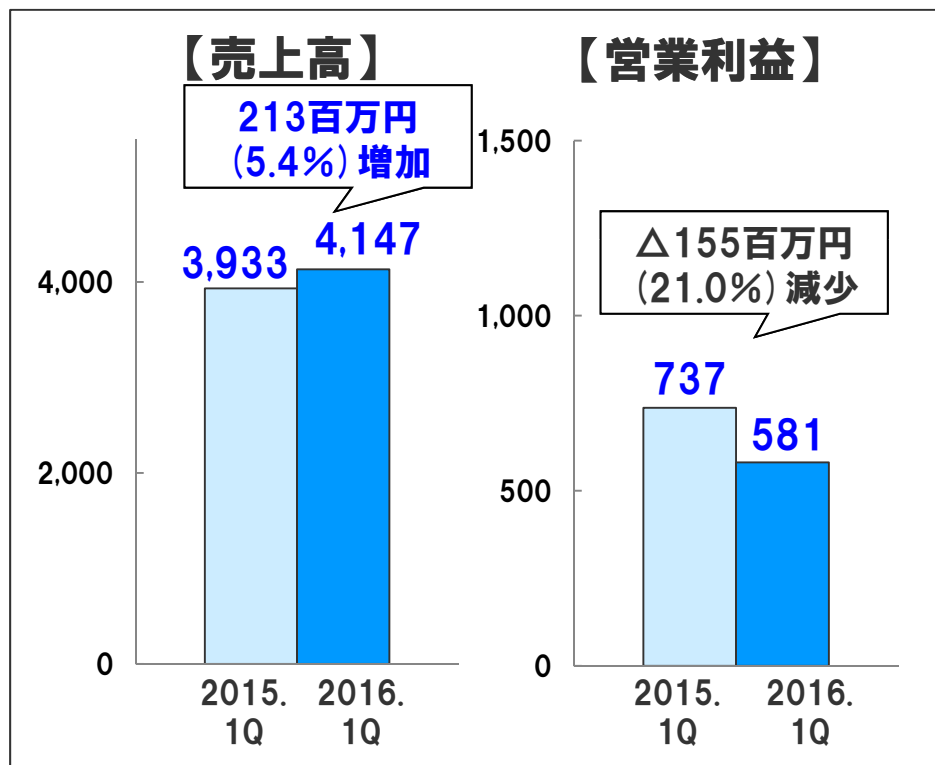
2.1.2.セグメント業績

広告事業

:内訳(取引形態別)

広告代理店取引

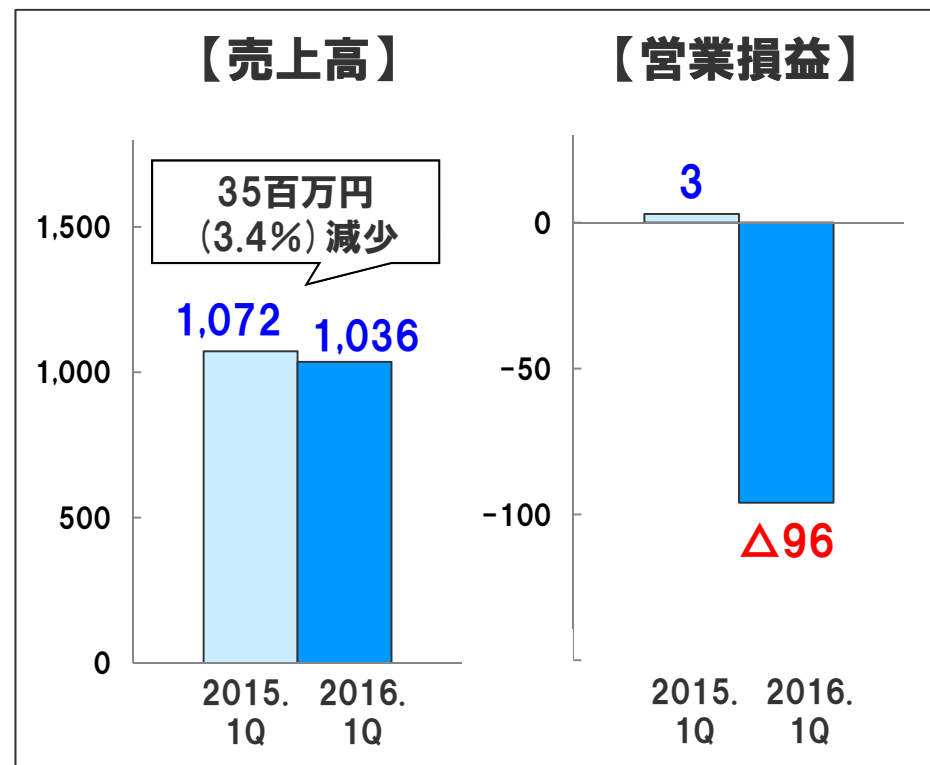
(単位:百万円)



- ✓ 複数の大型案件が2Q・下期へ検収ずれするも、**売上高は前期比で増加。**
- ✓ 低利益率の案件が複数発生したこと等により、**営業利益は前期比で減少。**

広告主直接取引

(単位:百万円)



- ✓ 案件の引き合いは好調を維持したものの、2Q・下期以降検収の案件が多く、**前期比で減収。**
- ✓ インドネシアにおける新会社の業績不振も重なり、**営業損失を計上。**

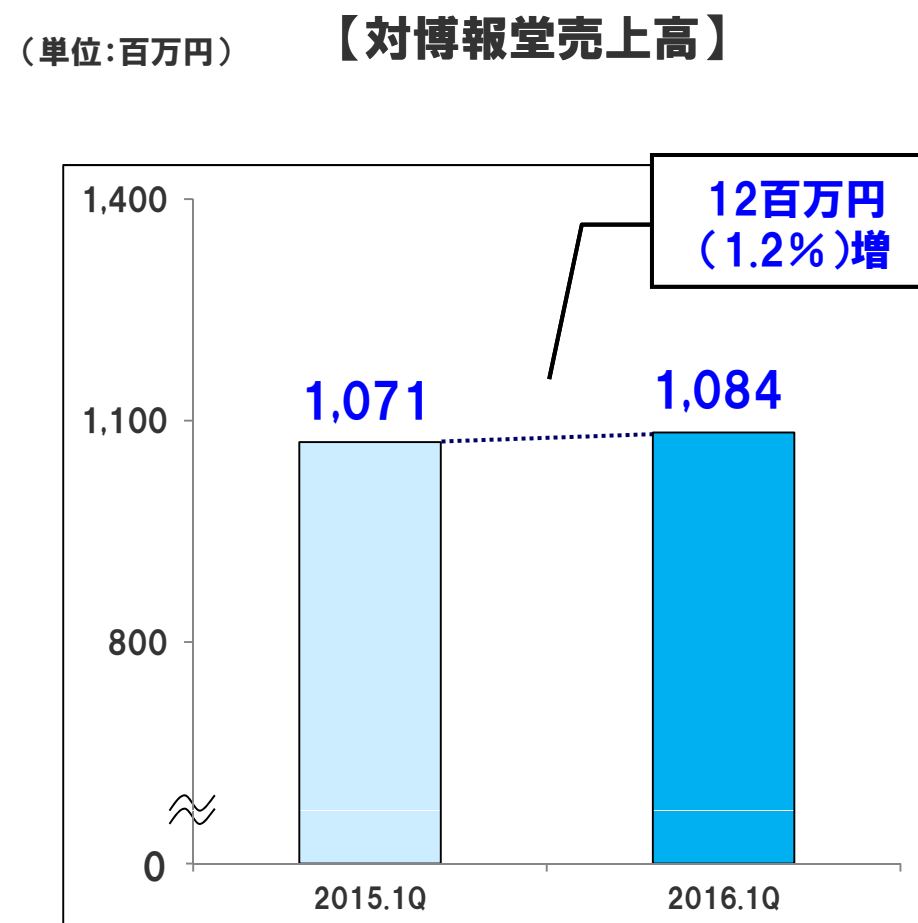
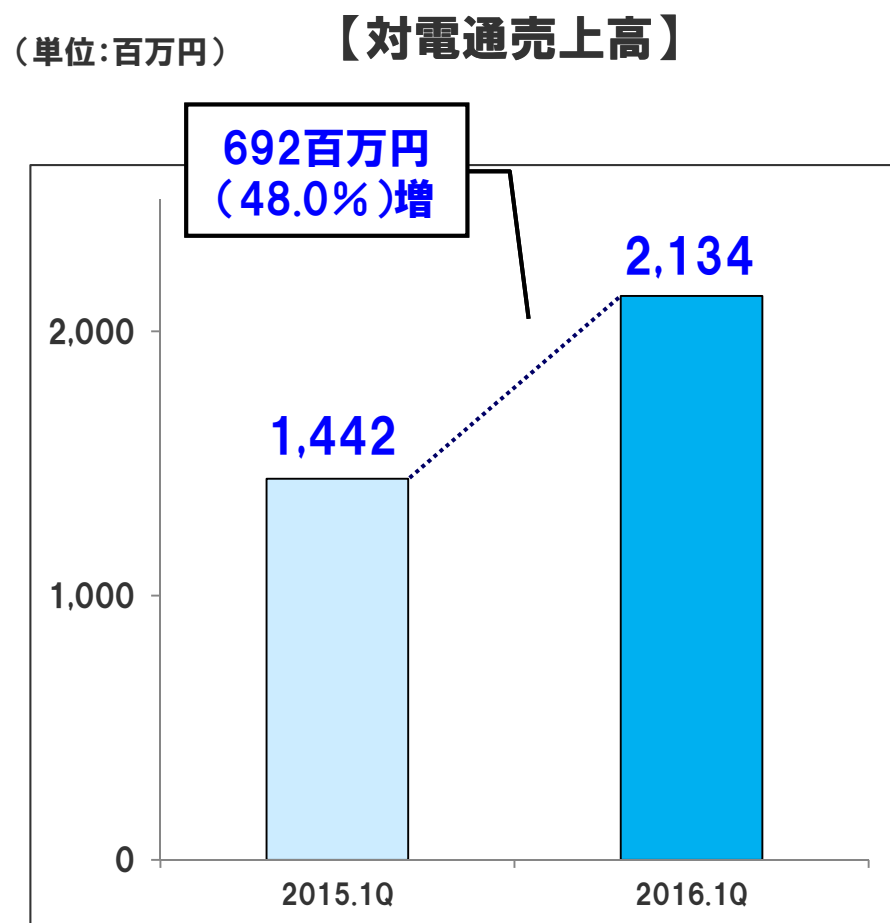
※ 売上高: 外部顧客売上合算

営業利益: 部門別営業利益合算(連結調整前)

(広告主直接取引のTV-CMの営業利益は「広告主直接取引」に計上) highly confidential ©TYO

2.1.3. 対電通・博報堂売上高推移

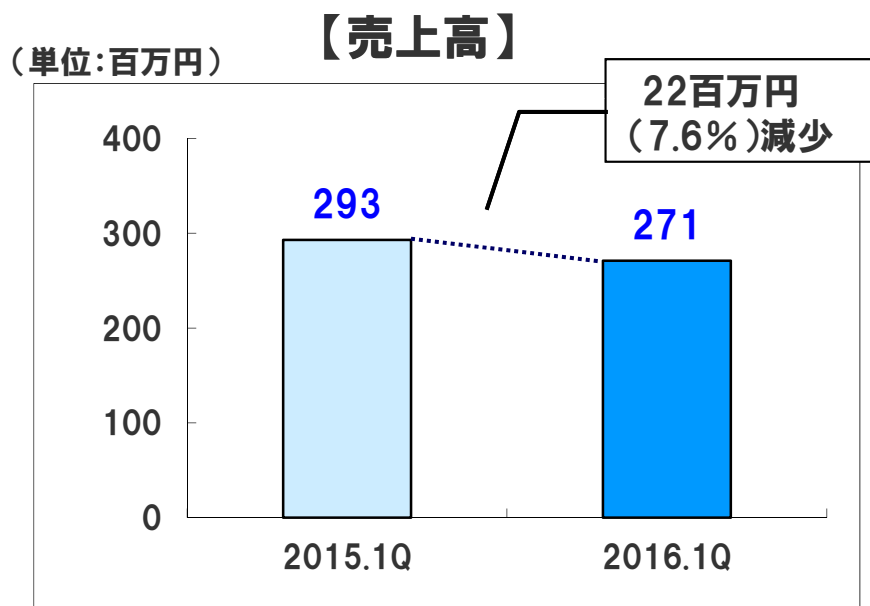
対電通売上が前期比で躍進、博報堂向けも堅調に推移。
(2社合計:前期比705百万円増加)



2.2. 映像関連事業

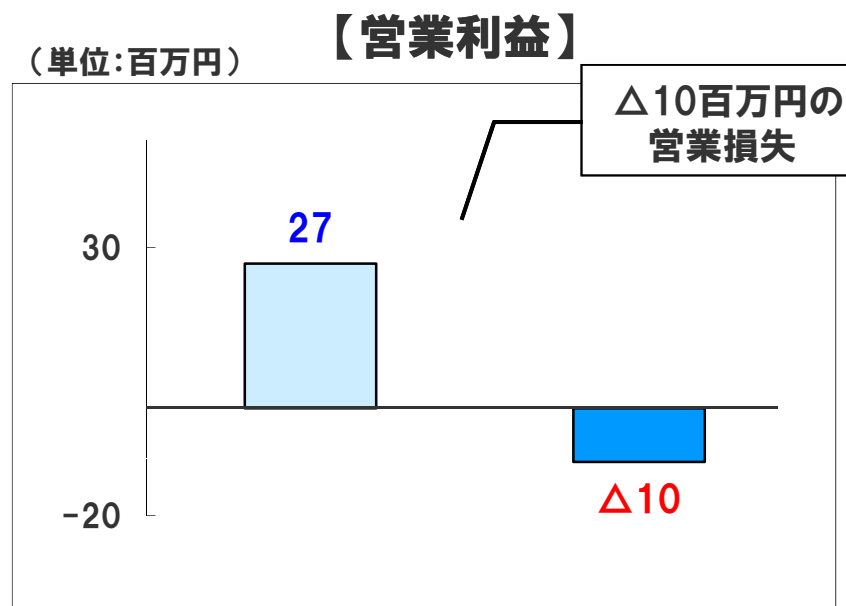


大型ライブ映像案件を受注した前期比で売上高は減少。
売上高の減少に伴い営業損失を計上。



- ✓ アニメ制作の売上は順調に増加。
- ✓ 大型案件の受注がなかった当1Qは
ミュージックビデオ制作の売上は低調に推移。

- ✓ 売上高は前期比で
22百万円(7.6%)減少。



- ✓ 前期は高利益率の大型案件の受注により
27百万円の営業利益を確保。

- ✓ 売上減少に伴い、営業損失を計上。

3. 経営施策の進捗状況



3. 経営施策

1

人員/人材強化

2

広告主直接取引の拡充

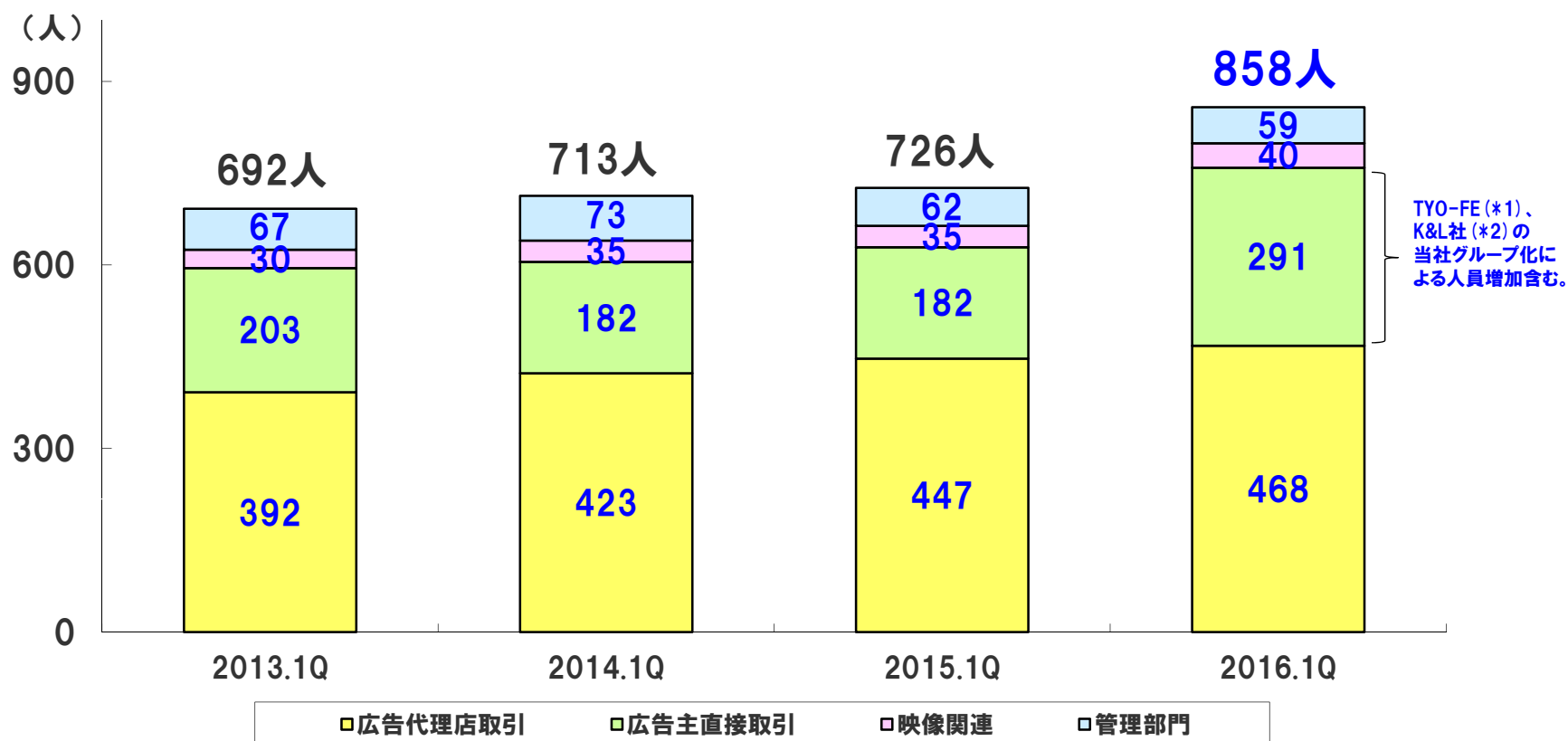
3

M&A展開

3.1. 人員／人材強化

広告主直接取引部門の人員増強によりグループ人員数増加。
 定着率向上を目的に福利厚生制度の拡充を推進。

【人員推移】



*1 2015年7月に設立した合弁会社/インドネシア法人PT TYO FIRST EDITION

*2 2015年8月に第三者割当増資を引き受けた(株)ケー・アンド・エル

3.2. 広告主直接取引の拡充

■ ジャパン・ブランド確立を目指すENGAWA(株)への出資決定

- ・2015年12月、(株)サニーサイドアップがENGAWA(株)を新設分割により設立。
《Vision》日本が世界に誇る”おもてなし“から生まれる商品・サービスを国内外に発信・輩出。
- ・新会社への出資により期待できる効果
 - ① クライアントへの提案拡充
 - ② 新規営業のアプローチ効果
 - ③ 当社グループが取り組む「地方創生」、「インバウンド」等促進への寄与

■ 営業部門の人材強化

- ・人員拡充及び近年積極的に採用してきた人材戦力化等による営業力向上
- ・新卒採用人数の増員等、新たな人材獲得を継続的に推進
- ・営業部門からインドネシア等への海外駐在員を育成

■ 上流からの一括受注の大型案件が増加

- ・案件の引き合いは引き続き好調を維持。
- ・当期も下期以降に新規大型案件が複数控えている状況。

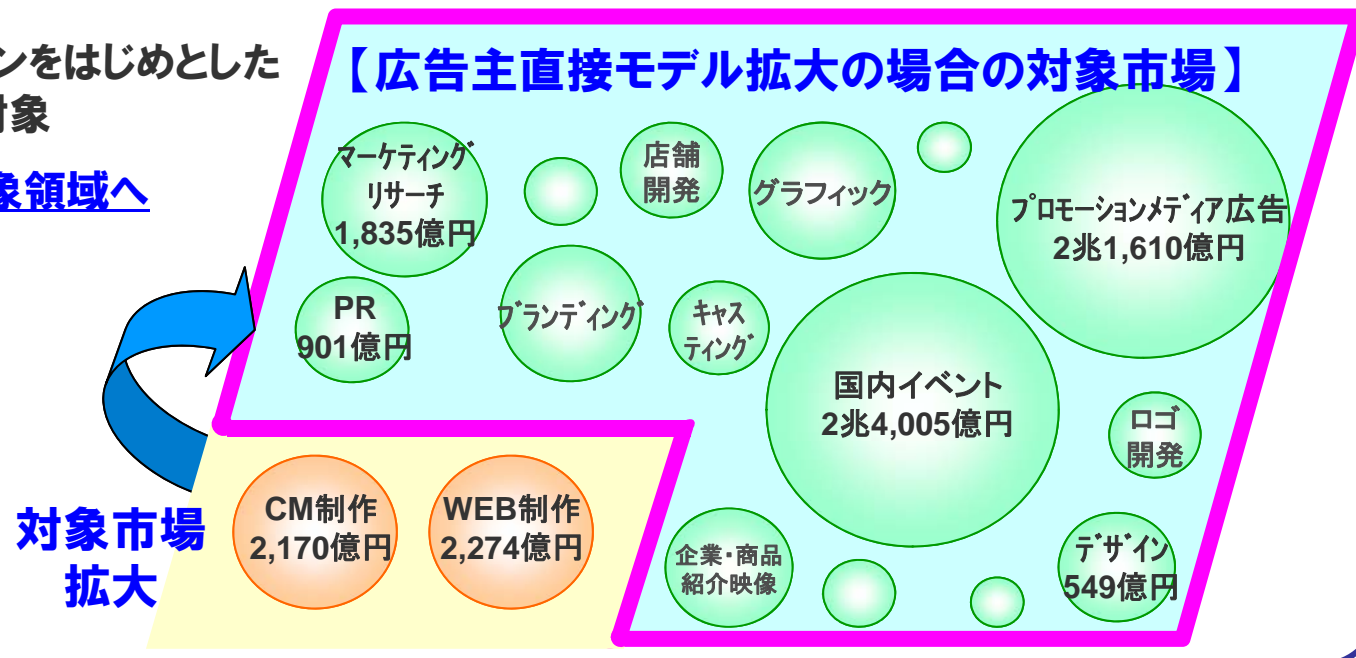
3.3. M&A展開

■ 国内：今後の展開

- ・ PRやセールスプロモーションをはじめとした一定規模以上の企業を対象

⇒ 広大な市場が事業の対象領域へ

- ・ 業務提携、資本提携も含め手法を柔軟に検討



■ 海外：今後の展開

- ・ 2015年12月、シンガポールにK&L CREATIVE ASIA PTE. LTD.を新設。
- ・ 第2弾以降のM&A候補先の調査及び選定を準備中

K&L

= 海外売上高40億の目標に対し、約20億までは達成目途

4. 数値計画



4.1. 業績予想

現時点で業績予想は変更なし。売上高は8期ぶりに過去最高、
営業利益・経常利益は過去最高益を更新見込み。

【2016年7月期 通期業績予想】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	配当金
半期	14,500	900	830	500	-
※前期実績	12,596	721	709	439	-
通期	32,000	2,150	2,000	1,200	5円
※前期実績	28,393	1,884	1,806	1,119	5円

4.2. 今後の展開: 数値計画

【当初計画】

□売上高
18年7月期に、500億円

	15年7月期 【計画値】	16年7月期 【計画値】
売上高	280億円	320億円
営業利益 (率)	18.5億円 (6.6%)	21.5億円 (6.7%)

【現状の計画】

□売上高
18年7月期に、500億円

	15年7月期 【実績値】	16年7月期 【計画値】	17年7月期 【計画値】
売上高	283億円	320億円	400億円
営業利益 (率)	18.8億円 (6.6%)	21.5億円 (6.7%)	27.0億円 (6.8%)

➤ 計画は順調に進捗しており、

16年7月期 及び 以降の計画は据え置き

□成長方針

既存事業での成長は勿論、

規模・収益力・競争力強化の為、

国内・海外の双方において、積極的に戦略的事業投資を実施

4.3. 株主優待制度のご紹介

2016年7月期 株主優待（2016年1月31日時点） ※条件に一部変更あり

① クオカード

- ・ 1,000株以上 ⇒ 1,000円相当
- ・ 3,000株以上 ⇒ 5,000円相当
- ・ 5,000株以上 ⇒ 10,000円相当

② TYOオリジナル株主優待

当社ならではのクリエイティブ性のある株主優待を継続的に実施。

2016年7月期 TYOオリジナル株主優待『株主様！あなたがアニメの主人公！』

【概要】

- ・ 当社グループ会社でアニメーション制作を行う(株)TYOアニメーションズが株主様のために世界に一本だけの**オリジナルアニメーションを制作**。
- ・ スタッフとともにキャラクターやストーリーを創り、参加希望者はアフレコにも挑戦。
- ・ 作品DVD、オリジナル原画等を贈呈。
- ・ 抽選2組様（家族・友人等と出演可）

【参考】2015年7月期 株主優待実績

① クオカード

- ・ 500株以上 ⇒ 1,000円相当
- ・ 2,500株以上 ⇒ 3,000円相当
- ・ 5,000株以上 ⇒ 5,000円相当

② TYOオリジナル株主優待

株主様に好きな歌を歌っていただき、衣装、スタイリスト等は当社で用意。オリジナルミュージックビデオを制作（抽選3名様）



プロが使用する本格的なスタジオでのレコーディング体験！



スタジオにセットを用意し、プロの制作スタッフが集結！

- ・ 本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございます。予めご了承ください。
- ・ 本資料には、当社の現在の計画、及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与うるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、さまざまな要因により、これらの見通しとは異なることがあります。
- ・ 本資料は、有価証券の売出し、販売、勧誘を構成するものではありません。

何かご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

TYO経営企画部 (03-5434-1586)